

算数オンライン塾 10月5日の問題 解説

(1) 2つの点の差が長方形の周の半分になれば、直線PQが長方形ABCDを2等分します。 $9+15=24\text{cm}$ ですから、 $24 \div (5-2) = 8$ 秒後

(答え) 8 秒後

(2) Pは4.8秒後にCを通過します。このとき、QはAから9.6cmのところにいるので、三角形APQの面積は $9.6 \times 9 \div 2 = 43.2$

長方形の3分の1は $15 \times 9 \div 3 = 45\text{cm}^2$ なので、まだそこまで達しません。

したがって、PがBC間にいる間に3分の1に初めてなるので、

$AQ \times 9 \div 2 = 45$ AQの長さ=10cmより $10 \div 2 = 5$ 秒後

(答え) 5 秒後